

## 健康福祉部の使命

私たち健康福祉部は  
赤ちゃんからお年寄り一人ひとりの  
QOYL（クオリティ・オブ・やぶ・ライフ）が向上し  
健やかで幸せに暮らせるまちを常に追求しながら  
部内の好連携と市民協働により  
これを実現します

### 【解説】

- ◆『赤ちゃんからお年寄り一人ひとり』とは  
生まれてから亡くなるまでのライフステージに応じた個々の市民ニーズを的確に把握することの重要性を親しみやすく分かりやすいワードで表します。
- ◆『健やかで幸せに暮らせるまち』とは  
人間誰しもが望む「健康＝健やか」と「幸福＝幸せ」が重要な潜在的市民ニーズであるとの考えのもと、市民個々がそれを実感しながら養父市で生活し活動することを表します。
- ◆『QOYL（クオリティ・オブ・やぶ・ライフ）が向上』とは  
市民全体の満足は、個々の生活の質＝クオリティ・オブ・ライフの向上であることを前提とし、ライフステージや社会的弱者を含めた多様で変化する個々の市民ニーズに対応することの重要性を表します。  
また、全庁使命にある「やぶぐらし」と関連させ、QOLに「やぶ」の「Y」を入れた造語とし、オリジナリティを出しました。
- ◆『部内の好連携と市民協働』とは  
常日頃から求められている庁内における「連携」を「好連携」と明記することで、上辺の繋がりだけでなく、知恵や汗が交わる連携とし、相乗効果を高めるべく、自由闊達に議論できる風土を醸成し、組織力を引き上げます。  
また、市民の健康や幸せを創るのは市民自体であることから、市民と力をあわせて市民総活躍の理念に基づき取り組むことの重要性を表します。
- ◆『常に追求しながら』『実現します』とは  
変化し続ける社会情勢や市民ニーズに対応するため、「常に追求する」ことの重要性と、使命の具体化には、超えなければならない多くの壁があり、その壁を乗り越える覚悟として「実現」を明記します。